

令和5年2月17日

西脇市長 片山象三様

西脇市まちづくり推進審議会
会長 平田富士男

市民主体のまちづくり活動活性化方策について（答申）

令和4年6月24日付う～037で意見を求められましたみだしのことについて、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

記

市民主体のまちづくり活動活性化方策について検討するため、まちづくり活動団体の現況や各まちづくり支援策の活用状況を確認し、各まちづくり活動支援策の課題及び見直しの必要性について検証しました。

検証の結果、市が実施する各まちづくり支援策が、市民主体のまちづくり活動の活性化に一定の成果をあげていることが確認できました。

一方で、まちづくり団体の活動の見える化や会員の固定化、意識の硬直化等の課題が確認されました。これらの課題に対応し、市民主体のまちづくりをさらに活性化していくため、団体の交流や連携強化のための支援が必要であることが明らかになりました。

今後も市の人口減少、少子高齢化がさらに進行していくことは確実であり、そのような状況のなか、地域を維持していくためには参画と協働のまちづくりの推進はますます重要になってきます。

このため、以下の事項に留意し、継続的にまちづくり施策の推進に取り組まれるよう答申いたします。

- 1 まちづくり団体の成長に繋がる交流を促進するため、団体間で必要な情報が共有できる仕組みの構築及び団体の居場所となる場の創出に努められたい。
- 2 まちづくり活動を促進させるため、多くの市民が各団体の活動を知ることができる方策を検討するとともに、活動者に対し、助言等を行える体制の充実に努められたい。
- 3 新たなまちづくり団体の育成を進めるため、市民へ情報が届くよう工夫するとともに、まちづくり活動に触れることができる機会を提供するよう努められたい。